

基本方針（素案）のパブリックコメントとそれに対する教育委員会の考え方

寄せられた意見の内容（要点）	教育委員会の考え方
<p>一定規模・適正配置について</p>	
<p>子どもが通う学校が単学級であり、統合はやむを得ないことだと感じている。学校の小規模化、教育的効果の実情を考えると、統廃合を含めた通学区域の見直しは仕方がないと感じる。</p>	<p>学校の小規模化が進む中、教育的効果の観点から学校の一定規模を確保していくことは急務であると考えます。</p>
<p>少子化の折、市の財政状況も厳しい中、学校の統合はやむを得ないことだと感じる。</p>	<p>子どもにとってよりよい教育環境づくりのため、子どもの成長・発達に必要な集団活動ができるよう、また多くの可能性を引き出せるよう、一定規模を確保していくことが必要と考えます。</p>
<p>一定規模・適正配置を推進していくことは必要不可欠である。</p>	<p>学校の適正配置については、通学上の安全確保を図り、地域コミュニティ、歴史的背景を考慮に入れ、既存の学校施設を活用しつつも統合後の学校には必要な施設設備、機能の整備に努めます。</p>
<p>子どもにとっての小中9年間は将来の社会性を見につけさせる重要な時期であるので、大勢の中で生活し、勉強・運動を通じて感情や協調性を育むことは何より必要なことだと考える。</p>	
<p>教育的効果の点から適正規模を維持していくことが必要との議論は概ね妥当。</p>	<p>小規模校にも一定のメリットがある一方、児童・生徒の成長・発達に必要な集団活動が十分にできないなど克服するのが難しい課題が多く、トータルで判断すると複数学級の方が子どもたちにとってよりよい教育環境であると考えます。</p>
<p>一定規模の学校ができれば、学校選択制で小規模校に行くべきかの悩みはなくなる。</p>	<p>東京都の学級編成基準（40人）をベースに、小学校では1学年60人で複数学級、中学校では105人で3学級の確保を基本と考えています。</p>
<p>子どもにとってよりよい環境を整え、大勢の生徒がいる中で一人一人に目が届き、安心して楽しい学校生活を送ることができることを一番に考えるべき。</p>	<p>各学校の一定規模を確保した上で、特色ある教育内容を提供できる学校づくりを目指していきます。</p>
<p>基本方針については、致し方なく、通学路の安全性や歴史的背景、住民の合意を得ることを考慮して進めることは評価する。</p>	
<p>極端な小規模化は問題があると思う。</p>	<p>適正な配置に当たっては、学校が果たしてきた地域における役割、経緯をできる限り踏まえ、地域コミュニティとの整合性、連携や位置についても留意します。</p>
<p>この先大きな児童・生徒の変動が見込めないのであれば、どこかで思い切った見直しが必要。</p>	<p>中学校については、適正学校数を8校とすることにより、一定規模の確保を目指します。子どもたちの人間関係を発展させることを第一に考え、このためには学校の一定規模を確保していくことが必要であると考えています。</p>
<p>小学校に関しては、極端に少人数である学校を除けば、小規模校でも、それなりの集団生活を送れ、メリットがあるように思う。小規模校の一番のデメリットは教職員の負担であると思う。</p>	<p>従前の、学校を適正とされる規模に維持しようとする考え方を改め、子どもたちの教育環境を充実させるために必要な一定の学校規模を確保しようとする考え方に移行しました。</p>
<p>すべての学校に一律ではなくとも、少人数学級を選択できるような仕組みを取り入れられないか。</p>	<p>小規模化に加え、大規模化の問題についても配慮して進めるべき。</p>
<p>子どもが小規模校に通っているが、克服できるデメリットもあるように思う。</p>	<p>小規模校の解消には、大規模校の通学区域から子どもを呼び込むことも考えるべき。</p>
<p>学校の統合を進める際には、「1クラス30人を基本とする」という考えを入れてほしい。</p>	<p>学校は、学区の真中あたりにあるべきだと思う。</p>
<p>結局、小さい学校つぶして終わってしまうのでは（特に中学校）。</p>	<p>財政的な理由で統合するのであれば納得できる。</p>
<p>少人数クラスだからできることをもっと話し合ってほしい。</p>	<p>財政的な問題を教育効果の問題にすりかえている点に怒りを感じる。</p>
<p>市内に小規模校があっても何故いけないのか。同規模の学校ばかりになり、何を基準に学校を選択するのか。</p>	
<p>子どもの成長・発達に児童生徒数の多寡は関係ない。</p>	
<p>適正配置については、学校を多様な役割を担う地域の中核施設として位置付け、その観点からの整備活用を念頭に置いた再配置を検討することが必要。</p>	
<p>一定規模の考え方が、中学校について各学年3学級というのは難しいのではないか。</p>	
<p>適正な学校数を先に決めてしまい、まず見直しありきとするやり方に疑問を感じる。</p>	
<p>小規模化に加え、大規模化の問題についても配慮して進めるべき。</p>	
<p>小規模校の解消には、大規模校の通学区域から子どもを呼び込むことも考えるべき。</p>	
<p>学校は、学区の真中あたりにあるべきだと思う。</p>	
<p>財政的な理由で統合するのであれば納得できる。</p>	
<p>財政的な問題を教育効果の問題にすりかえている点に怒りを感じる。</p>	

寄せられた意見の内容（要点）	教育委員会の考え方
<p>行程は大変であるが、良い形で前向きに進むことを願う。</p> <p>最近統合した学校のPTAの役員であるが、統合前に丁寧な話し合いを重ねたため、とても順調である。今後の統合の際にも、統合校の親土土の話し合いの場を十分に持って進めてほしいと思う。</p> <p>統合によって地域のコミュニケーションをうまく図ることが不可欠。</p> <p>統合に当たっては、経過を市民に公開し、対象地域の相互理解ができる場をつくり、協力してよりよい学校をつくっていくという認識づくりをしていく。</p> <p>統合後、学区の境界線付近の子どもには自由選択の余地を。</p> <p>統合決定後も統合を急がず、両校の交流を図り、理解を深めた上で、学校運営、校風、行事等を検討する時間をとってほしい。</p> <p>統合に際しては、全学年に学校選択制の適用を拡大し、受入枠も増やすなどの特別措置を望む。</p> <p>統合による児童・生徒の不安軽減を図り、統合後の学校になんらかの付加価値を付ける等の特例を実施してほしい。</p> <p>この問題がまだ保護者全般に伝わっていない。</p> <p>個人としては、地域で築いたコミュニティを崩してほしくはない。</p> <p>統合される時期、方法については、子どもの気持ちを考えて進めてほしい。</p> <p>対象の地域には、情報格差が出ないよう、配慮してほしい。</p> <p>小規模校に通う子ども・保護者の不安を解消するために、早急に取り組むべ 行政は、素案に書いてあるとおり、誠実に対応してほしい。</p> <p>現場の先生、保護者、地域の意見を聞いてほしい。</p> <p>地域の保護者との合意形成に重点を置き、意見交換会などを開催し、生の声を拾ってほしい。</p> <p>最善の方策を見出し、保護者を納得させるしっかりとした考え方を示してほしい。</p> <p>一時的な児童生徒数の増加に対する教室の確保についての考え方を示してほしい。</p> <p>統合を進める際には、地域住民、保護者と十分な話し合いを持ってほしい。</p> <p>「おおむね5年間」で見直すの「5年間」はいつからいつまでを指しているのかが不明確。</p> <p>学校をコミュニティを結ぶ場所として整備してほしい。</p> <p>緊急避難場所としての学校の役割を再確認すべき。</p> <p>食育が特徴的な給食室を備えた学校の整備を。</p> <p>情報伝達を確実にを行うための体制の整備を。</p>	<p>通学区域の見直しに当たっては、地域代表を含めた審議会を設置して審議していく中で、地域懇談会等を開催して地域住民、保護者等の意見、要望等を伺いながら進めていきます。審議会、地域懇談会の進捗状況については、広報、公式HPに加え、学校、PTAを通じ対象校の保護者への周知を図ります。</p> <p>統合に際しては、両校の児童・生徒、保護者、教員の交流の機会を多くもち、理解を深められるよう学校へ働きかけます。</p> <p>統合後の学校については、できる限り必要な施設設備、機能の整備に努めていきます。地域コミュニティと学校との整合性や連携に留意して、通学区域の見直しを進めていきます。</p> <p>最優先校及び貝取・豊ヶ丘地区の4小学校については、平成21年度頃までに通学区域の見直しを実施します。</p> <p>これまで通り、統合に当たっては、指定校変更制度の活用等を図っていきます。</p>
<p>通学路の安全確保の再点検を行ってほしい。</p> <p>児童の登下校の安全確保、安全な遊び場の提供について市側からの働きかけも望む。</p> <p>通学時の防犯上、交通上の児童生徒の安全の確保が難しくなっている。</p> <p>統合により安全性の高い遊歩道を利用しないで、近道を使って通学するケースがあるのでないか。</p> <p>通学距離が長くなる子どもたちへの対策を考慮してほしい。</p>	<p>通学区域の見直しに当たっては、防犯、交通の両面からの安全確保を考慮していきます。</p>

寄せられた意見の内容（要点）	教育委員会の考え方
<p>学校選択制導入後、何故学校の規模、通学区域について審議するかについて疑問を抱く。</p> <p>学校選択制に対する保護者、地域、学校からの評価はどのようなものか。</p> <p>学校選択制の存続、見直しについて触れずに統廃合ということに疑問を感じる。</p> <p>学校選択制を更に発展させ、将来的に学校運営、施設整備を大幅に校長に権限委譲し、学校の個性化、活性化を進め、魅力的な学校群を創造すべき。</p> <p>再配置後に、また学校選択制によって規模の格差が出ないようにしてほしい。</p> <p>学校選択制が存続する以上、何かあるたびに子どもの集団移動が起こり、一定規模を維持できなくなるのでは。</p> <p>学校選択制により、小規模化を助長するケースがある。</p> <p>学校選択制がある限り、通学区域の見直しは無駄になる。</p> <p>学校選択制の矛盾を改めて見直してほしい。</p> <p>学校選択制について全く触れていないのはおかしい。</p> <p>通学区域の見直しに当たっては、まず学校選択制を廃止すべき。</p> <p>各学校の特色ある活動を支援し、広く市民に知らせるようにしてほしい。</p>	<p>これまでに学校選択制を利用した保護者からは、一定の評価をいただいています。現在は学校選択制により小規模校を敬遠する傾向がありますが、各学校の一定規模を確保することにより、規模ではなく教育内容での選択を促すことができます。</p> <p>学校選択制は、児童・生徒、保護者が自ら学校を選択し、児童・生徒が個性を伸ばし、いきいきと学校生活がすごせるようになることを目的としています。</p>
<p>反対。</p> <p>賛成。</p> <p>教育委員会でもっと各家庭に関心を持ってもらうよう、PRした上で意見を募集すべき。</p> <p>夏休みという一年で一番学校のことから開放される時期に、このような意見を求めるべきではない。</p> <p>各クラスの人数を学校の采配で決められるように多摩市もすべき。</p> <p>行政の、市民に丸投げして、逃げ道を作る進め方に不信感を抱く。</p>	<p>今後、地域懇談会等の地域の意見を伺う機会については、参加しやすいような設営を心がけます。</p> <p>多摩市においては、都の加配教員や市のピアティーチャーを活用した少人数指導の充実した教育に努めます。</p> <p>子どもたちにとって重要な問題であるので、市民参画による審議会に諮り、地域の意見を聞きながら進めていくことが、最善と考えます。</p>